

# ALT DIARY

～英語指導助手の活動日誌～

今月は、中学校で英語を指導されているビクトリア・ハーバーさんからの報告です。

## 学校の授業について

現在の一の宮中学校の1年生は、私が3月まで宮地、坂梨、中通、古城の各小学校で教えていた子どもたちです。4月にみんなが中学校に来てくれたので、私はとってもうれしかったです。小学校での英語の授業はそんなに難しいものではなく、基本的な言葉やあいさつなどを、ゲームを交えて分かりやすく、そして覚えやすいように教えていました。

今、みんなが中学生になって、英語の授業はずいぶん難しくなりました。短い時間の中で読んだり書いたりしなければなりません。しかし、私はみんな大変よくやっていると思います。日本の生徒はとっても頭がいいです。英語を難しいと思う生徒もいるとは思いますが、そんなときはぜひ私のところに来てください。まだ日本語を上手く話せませんが、みんなのことはずいぶん理解できるようになりました。お互いに頑張れば、私たちはもっとコミュニケーションできると思います。

外国語を学ぶことは難しいことですが、とても価値のあることです。私のアドバイスが少しでもみんなの勉強に役に立てばと思います。そして、英語の勉強は退屈なものではありません。ただ、机に向かうだけでなく、英語の音楽を聴いて歌詞を調べたり、映画を吹き替えなしで見たりすることで、あなたたちの英語のスキルはとっても上達します。それと英語をしゃべることを恥ずかしがってはいけません。最初は上手く発音できないかも知れませんが、心配しなくても大丈夫です。私だって日本語をしゃべるために同じような思いをしているのですから。



## 熊本城を見て再び絵を描き始めました

私は冬休みに初めて熊本城を見に行きました。熊本城は大変美しい場所です。そして何より熊本城の歴史や背景が面白いと思いました。アメリカにはお城はありませんので、私は熊本城の中を探検してみました(熊本に来たことはラッキーでした☆)。

さて、日本には多くの美しい場所がありますが、それらの場所は私に想像力をかきたたせます。アメリカのルイジアナでは、私はグラフィックデザイナーをしていましたので、私は美術が大好きです。でも、日本に来てからしばらくの間、何も描いていませんでした。私にとっては少しさびしく、まるで全く才能のなくなってしまった画家のような気分でした。でも、最近また絵を描き始めました。それは熊本の様々な美しい場所が私に再び絵を描く力を与えてくれたからだと思います。私は私がこの国を愛していることを、絵を通じて表現したいと思います。とっても難しいことではあるけれども。みんなも応援してください。



## さわやか フレッシュマン



ばく すーよん  
朴 秀蓮 さん (21) 赤水  
阿蘇プリンスホテル 勤務

尊敬する人： 親  
好きな男性のタイプ： 心が温かい人  
特 技： 料理  
趣 味： 日本の歌謡曲を聞くこと  
血 液 型： B型

・今月は、増加する韓国からの客人対応スタッフとして、ホテルに採用された女性を紹介します。

Q. 日本で仕事をしようと思ったわけ  
日本語をはっきりマスターするために、自分の実力をあげるために。

Q. 仕事のやりがい、日頃から心がけていること  
初めて社会人として仕事だんだん慣れていくのがやりがい。日頃から心がけていることは、日本語の実力をつけること。

Q. 阿蘇の好きなところは  
景色がきれい、水がおいしいなど、いろいろあります。

Q. 将来の夢  
Career Woman (キャリアウーマン)  
※職業で身を立てる女性